

2019年3月期 決算公告

2018年度（2019年3月31日現在）貸借対照表

（単位：千円）

科 目	金 額	科 目	金 額
（ 資 産 の 部 ）		（ 負 債 の 部 ）	
現金及び預貯金	1,708,506	保険契約準備金	332,581
現金	198	支払備金	26,639
預貯金	1,708,308	責任準備金	305,941
有形固定資産	24,057	代理店借	233,775
建物附属設備	9,227	再保険借	150,447
リース資産	14,049	その他負債	611,905
その他の有形固定資産	780	未払法人税等	47,379
無形固定資産	117,031	未払金	85,099
ソフトウェア	116,881	未払費用	21,357
その他の無形固定資産	150	預り金	6,755
代理店貸	169,915	リース債務	14,875
再保険貸	42,285	仮受金	435,573
その他資産	452,170	その他の負債	863
未収金	359,515		
前払費用	35,852	負債の部合計	1,328,709
預託金	44,697	（ 純 資 産 の 部 ）	
仮払金	7,877	資本金	190,000
その他の資産	4,226	利益剰余金	1,018,501
繰延税金資産	1,243	利益準備金	1,900
供託金	22,000	その他利益剰余金	1,016,601
		繰越利益剰余金	1,016,601
		株主資本合計	1,208,501
		純資産の部 合計	1,208,501
資産の部合計	2,537,211	負債及び純資産の部合計	2,537,211

1. 重要な会計方針に係る事項

(1) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産

定率法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物附属設備 3～15年

その他の有形固定資産 3～8年

②無形固定資産

自社利用のソフトウェアの減価償却は、利用可能期間（5年）に基づく定額法により償却しております。

③リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法により償却しております。

(2) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっております。

(3) 責任準備金の積立方法

責任準備金は、保険業法施行規則第211条の46の規定に基づき算出した金額を計上しております。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 72,039千円

3. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

責任準備金 3,507千円

その他 6,374千円

繰延税金資産 小計 9,881千円

評価性引当額 Δ 8,638千円

繰延税金資産 合計 1,243千円

4. 関係会社に対する金銭債務の総額

関係会社に対する金銭債務 15,558千円

5. 資産除去債務に関する事項

当社は事務所の賃貸借契約に基づき、事務所の退去時における原状回復に係る債務を資産除去債務として認識しております。

なお、資産除去債務の負債計上に代えて、賃貸借契約に関連する敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積もり、そのうち当期の負担に属する金額を費用に計上する方法によって処理しております。

6. 支払備金及び責任準備金の内訳

(1) 支払備金

支払備金（出再支払備金控除前）	532,792 千円
同上に係る出再支払備金	506,153 千円
差引	26,639 千円

(2) 責任準備金

普通責任準備金（出再責任準備金控除前）	4,988,240 千円
同上に係る出再責任準備金	4,738,828 千円
差引（イ）	249,412 千円

異常危険準備金（ロ）	56,529 千円
計（イ＋ロ）	305,941 千円

7. 金融商品に関する事項

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金に限定しており、また、借入による資金調達は予定しておりません。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

2019年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額	時価	差額
現金及び預貯金	1,708,506	1,708,506	—
代理店貸	169,915	169,915	—
再保険貸	42,285	42,285	—
未収金	359,515	359,515	—
代理店借	233,775	233,775	—
再保険借	150,447	150,447	—
未払金	85,099	85,099	—
仮受金	435,573	435,573	—

(注) 金融商品の時価の算定方法

現金及び預貯金、代理店貸、再保険貸、未収金、代理店借、再保険借、未払金、仮受金は短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

8. 1株当たりの純資産額

318,026円83銭

9. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

2018年度

〔 2018年 4月 1日から
2019年 3月 31日まで 〕

損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	10,774,011
保険料等収入	10,770,534
保険料	5,563,311
再保険収入	5,207,223
回収再保険金	1,094,544
再保険手数料	3,860,609
再保険返戻金	252,069
資産運用収益	0
利息及び配当金等収入	0
その他経常収益	3,476
経常費用	10,423,773
保険金等支払金	6,703,013
保険金等	1,152,211
解約返戻金等	265,742
その他返戻金	2,831
再保険料	5,282,227
責任準備金等繰入額	20,945
支払備金繰入額	4,758
責任準備金繰入額	16,186
事業費	3,699,692
営業費及び一般管理費	3,625,641
税金	21,099
減価償却費	52,950
その他経常費用	122
経常利益	350,237
税引前当期純利益	350,237
法人税及び住民税	88,804
法人税等調整額	12,869
法人税等合計	101,673
当期純利益	248,563

1. 収益及び費用に関する内訳

(1) 正味収入保険料

保険料、再保険返戻金及びその他再保険収入	5,815,380 千円
再保険料及び解約返戻金等の合計額	5,550,802 千円
差引	264,578 千円

(2) 正味支払保険金

保険金等	1,152,211 千円
回収再保険金	1,094,544 千円
差引	57,667 千円

(3) 支払備金繰入額

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	95,175 千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	90,416 千円
差引	4,758 千円

(4) 責任準備金繰入額

普通責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前）	181,892 千円
同上に係る出再責任準備金繰入額	172,797 千円
差引（イ）	9,094 千円
異常危険準備金繰入額（ロ）	7,091 千円
計（イ＋ロ）	16,186 千円

(5) 利息及び配当金等収入

預貯金利息	0 千円
計	0 千円

2. 関係会社との取引高

関係会社との取引による費用総額	68,284 千円
-----------------	-----------

3. 1株当たりの当期純利益

65,411 円 49 銭

4. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。